

今だからこそ、 日本の難民問題を知ろう

世界難民の日 関西集会

6月20日は、2000年の国連総会で決定された「世界難民の日」。この日の前後には世界中で難民について考える様々な取り組みが行われている。毎年、関西では「世界難民の日 IN KANSAI」が開催され、

今年6月20日にオンラインで無料配信される。解放共闘も協力団体として関わっている。

2020年に日本で難民認定を受けた外国人は前年比3人増の47人とどまっていた。認定率はわずか1・2%。難民認定申請者数は3936人で、前年に比べ約62%減少。審査請求数は2573人で、前年に比べ約50%減少した。

新型コロナウイルス感染拡大で、入国者自体が激減したことが背景にあるといわれている。

申請者の国籍は計67カ国。国籍別で見ると、最多はトルコの836人で、以下、ミャンマーの602人、ネ

パールの466人、カンボジアの414人、スリランカの370人、パキスタンの326人などとなっている。「難民」とは認定しなかつたものの、人道的な配慮を理由に「特別在留許可」を得た人は44人だった。

2月19日に「出入国管理及び難民認定法」(入管法)の改正が閣議決定され、問題が多い法案であったために国内外から多くの反対の声が上がった。結局5月18日に法案が取り下げられ廃案となった。最悪の事態は

免れたが、「日本の難民受け入れ」や「入管収容者への人権」等の問題は改善されていない。日本の難民はどのような状況なのか。そして、私たちにできることは何なのかを考えよう。

「世界難民の日 IN KANSAI」

縮めませんか「心のディスタンス」
根付かせませんか「国際人権基準」

日程: 6月20日午後6時~午後8時
オンライン配信: YouTubeで無料配信
(イベント開催から1カ月間は視聴)
<https://www.youtube.com/watch?v=dP56yptST2I>



内容

- 講演: 「日本における難民の人々と入管問題」
安田 菜津紀さん(フォトジャーナリスト)
- わたし達難民の声を聞いて 在日難民代表者2名
- パネルトーク
 - ①世界の難民情勢と日本の現状について
安藤 由香里さん(大阪大学 国際人権法・国際難民法)
 - ②入管法と野党の難民法について
尾家康介さん(東京パブリック弁護士事務所、
外国人・国際部門担当)
- 講師およびパネリスト対談
- ビルマ(ミャンマー)クーデター後の情勢と日本での支援について ビルマ救援センター
- (主催) 世界難民の日 IN KANSAI 2021実行委員会
- (協力) アムネスティ・インターナショナル日本
アジア・太平洋人権情報センター(ヒューライツ大阪)
部落解放大阪府民共闘会議
RAFIQ(在日難民との共生ネットワーク)